

令和7年度

大学院看護学研究科看護学専攻

(博士前期課程)

学 生 募 集 要 項
二次募集



岐阜県立看護大学大学院看護学研究科

本学はこのような学生の入学を求めています

■博士前期課程

<本学が求める入学者>

看護学研究科博士前期課程では、実践現場における看護課題を適確に分析し、理論的・創造的に改革・改善することに指導的役割を担う人材、また人権を尊重した科学的な根拠に基づいた看護サービスが提供できる高度な看護専門職者を育成することを目指しています。

そのため、保健医療福祉教育の場で働いている看護職者（養護教諭含む）であって、看護サービスの改善・改革に強い関心を持っている者、人材育成も視野に入れて看護職場単位または看護チームで課題解決に取り組むことに関心のある者、看護サービス利用者の生活を中心にした看護ケアの実践を重視している者の入学を求めています。

なお、学生募集要項に示す期間の実務経験を有することを出願資格の要件の一つとしています。実務経験とは、保健師、助産師、看護師または養護教諭の資格取得後において、当該資格を基にした専門分野での勤務経験をいいます。

<入学者選抜の基本方針>

試験は、筆記試験、口述試験（面接）を行います。

筆記試験は、看護（養護を含む）に関する基礎的知識及び考え方を問う看護学一般と選択する領域に関する専門的知識、現状における問題・課題に関する認識状況を問う専門領域選択科目の試験を行います

口述試験（面接）は、個別面接により行います。入学後に取り組もうとしている実践の改革への問題意識や社会的役割などを含めて、本研究科で育成しようとしている人材像に対する適格性などを確認します。看護（養護を含む）の分野での指導性を発揮できる可能性なども考慮します。なお、必要に応じて、出願時に提出した書類記入事項についての追加質問も行います。

入学者の選抜は、筆記試験の得点、口述試験（面接）及び調査書等の内容を総合して評価します。

目 次

1 大学院看護学研究科の教育理念と教育目標	1
-----------------------	---

2 博士前期課程

I 募集人員	2
II 出願資格	2
III 出願前の手続	2
IV 出願手続	3
V 試験方法	5
VI 合格発表	6
VII 入学手続	6
VIII 個人情報の利用について	8
看護学研究科（博士前期課程）の概要	9

3 添付書類

試験会場へのアクセス

<博士前期課程 添付書類>

以下の書類が同封されていることを確認してください

- ・入学願書（A票）
- ・写真票（B票）
- ・受験票（C票）
- ☆ ・調査書（D票）（D-1）（D-2）
- ☆ ・推薦書（E票）
- ・在籍期間証明書（F票）
- ・入学検定料振込依頼書
- ・出願用封筒
- ・受験票送付用封筒（G票）

☆ 印は岐阜県立看護大学ホームページより様式をダウンロードしてパソコンで作成することも可能です。

1 大学院看護学研究科の教育理念と教育目標

岐阜県立看護大学大学院は、現職看護職の看護生涯学習の拠点としての機能を発揮することを目指しています。

■大学院看護学研究科の「教育理念」

看護の諸活動は、人々の生活の営みを健康生活の面から支えるものであり、その中心的課題は人権尊重に基づく自立的問題解決への支援です。この支援では、常に看護サービス利用者中心のあり方が基本となります。

本研究科では、個人の尊厳と人権の尊重を基盤に据えた利用者中心のケアのあり方を追究し、広い視野から看護実践の改革を積極的に推進できる創造的・先駆的指導者層の育成を目指します。この教育・研究活動を通して、国民が受け取る看護サービスの質の向上を図り、同時に、実践性・応用性の高い看護学の確立と発展を図ることを目的とします。

■博士前期課程の「教育目標」

看護実践の具体的諸課題に焦点をあて、その問題解決能力の育成をし、実践の場において、次の能力を発揮できる人材を育てます。

- ① 専門性の高い看護実践を遂行する能力
- ② 看護の質の充実に向けた改革を実行する能力
- ③ 多様な関係者の中で、ケア充実に向けた調整・管理をする能力
- ④ 総合的視野と高い倫理観に基づく看護サービスを改革する能力
- ⑤ 各種の専門領域で、後輩の指導を担う能力

本研究科では、慢性看護・小児看護・がん看護分野の専門看護師コースを併設していますので、各コースでは当該看護分野における卓越した看護の実践、看護職者に対する教育、ケア提供者へのコンサルテーション、関係者の調整、実践の場での研究、倫理的調整などの諸活動が遂行できる能力を育成します。

■博士後期課程の「教育目標」

看護実践の研究能力を付与する教育を担うことのできる看護職者を育てます。

具体的には、まず大学・大学院における教員として、看護実践の特質を踏まえた教育研究活動を実施できる人の育成です。次に、看護実践現場において必要な人材として、複雑な要因が絡む看護実践の改革を組織的に指導できる実践研究指導者の育成です。

そのために、下記の能力を培います。

- ① 保健・医療・福祉施設など、看護サービスが提供される場に関与する多様な要因について理解ができ、実践の改善・改革の研究を指導できる能力
- ② 地域の看護行政・看護政策にかかわる看護実践研究の課題が明確化でき、看護行政施策の進展に向けた研究的取組みができる能力
- ③ 利用者中心の看護として、倫理的課題を把握し、看護実践の改善に向けた研究的取組みができる能力
- ④ 看護実践の改善・改革を目指す看護学の学士課程教育(基礎教育)や大学院教育を実施できる能力

修了後は、看護学の大学・大学院の教員又は看護提供施設の管理・指導者として、看護実践の改革のための教育・研究を推進し、看護学の発展に貢献することを期待しています。

2 博士前期課程 (二次募集)

令和7年度岐阜県立看護大学大学院看護学研究科 看護学専攻（博士前期課程） 学生募集要項

I 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
看護学研究科 博士前期課程	看護学専攻	若干名

※令和7年度二次募集においては、専門領域のうち地域基礎看護学領域、育成期看護学領域を募集します。機能看護学領域、成熟期看護学領域は募集しません。

※地域基礎看護学領域には、専門看護師コース（慢性看護）を含みます。

II 出願資格

次の(1)から(6)のいずれかに該当し、かつ保健師、助産師、看護師または養護教諭（以下「保健師等」という）として2年以上の実務経験を、又は次の(7)から(9)のいずれかに該当し、かつ上記保健師等として4年以上の実務経験を有する者としてします。

実務経験とは、保健師等の資格取得後において、当該資格を基にした専門分野での勤務経験をいいます。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに学位取得見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が四年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
例）教育職員免許法による養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者等
- (7) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (8) 看護系又は養護教諭養成の短期大学（専攻科を含む）、専修学校、各種学校等を卒業・修了し、本大学院において、個別の資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時において22歳に達している者
※本資格により出願をしようとする者については、令和4年7月以降に本大学院の出願資格審査を受け出願資格が認定されていることが必要です。
- (9) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

III 出願前の手続

1 事前面談

出願する者は、全員、出願前に入学後の研究等について、志望する専門領域の教員の面談を受けてください。**過去に事前面談を受けた者も再度面談を受けてください。**

専門領域の選択及び担当教員については、『看護学研究科（博士前期課程）の概要』（9頁～11頁）によることとし、事前面談は学務課（電話 058-397-2300）へ申し込んでください。なお、面談は、複数の領域を希望することも可能です。

また、専門看護師を志望する者については、事前面談で令和7年度に入学できる専門看護分野、実務経験、所属施設側の準備状況について相談します。

事前面談の申し込み期間は、令和6年10月21日（月）から令和6年11月5日（火）とします。（土日祝日を除く）

IV 出願手続

1 出願期間

令和6年11月21日（木） ～ 令和6年11月29日（金） 午後5時必着

2 出願書類

下記書類を「出願用封筒」に入れ、差出人欄に必要事項を記入し、提出してください。

A票	入学願書	<p>① 本学所定の様式に、別記記入例にならって必要事項を記入してください。</p> <p>② 写真票に貼付する写真と同一の写真（裏面に氏名、生年月日を記入）を所定の場所に貼付してください。</p> <p>③ 裏面には、入学検定料の振込証明書（入学願書貼付用）又は振り込みが確認できる書類のコピーを貼ってください。（右記「入学検定料」参照）</p>
B票	写真票	<p>① 縦4cm×横3cmの写真（裏面に氏名、生年月日を記入）を所定の場所に貼付してください。</p> <p>② 写真は正面、上半身、無帽、無背景、出願前3か月以内のものとしします。</p>
C票	受験票	<p>所定欄に必要事項を記入し、写真票に貼付した写真と同一の写真（裏面に氏名、生年月日を記入）を所定の場所に貼付してください。</p>
D票	調査書	<p>本学所定の様式（D票（D-1, D-2））に、必要事項を記入してください。この調査書は2枚に分かれていますので注意してください。本年度の出願資格審査を受けた者については、再提出の必要はありません。</p>
E票	推薦書	<p>直属の上司などの推薦書を可能な限り提出してください。</p> <p>なお、専門看護師コースを出願する者は、上記推薦書に替えて、出願者の勤務所属の施設長並びに看護管理責任者（看護部長）の推薦書を提出してください。</p> <p>また、推薦理由には、入学を志願する専門分野を明記し、以下の内容を可能な限り具体的に記載願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願者の職場における人物評価について ・専門看護師コース進学への推薦の意義、期待について ・卒後の専門看護師申請・認定までのサポートを含め、貴施設・所属（看護部）における専門看護師の本来機能が発揮できる施設運営・体制づくりについて
F票	在籍期間証明書	<p>本学所定の様式によること。1施設（機関）で出願要件に該当しない場合は複数の施設（機関）から証明を受け、年数を満たすこと。また、D票の履歴欄と一致すること。本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。</p>
	卒業(修了)証明書 又は 卒業(修了)見込証明書	<p>出願資格に該当する免許に係る出身大学（出身学校）所定のものを提出してください。なお、出願資格に該当する免許に係る学校と異なる場合は、出身大学（出身学校）所定のものも提出してください。本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。</p>
	学士の学位授与 (見込)証明書等	<p>「出願資格(2)」で出願する者が提出してください。</p> <p>学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書を提出してください（見込の場合は、学位授与後、証明書を提出していただきます）。</p>
	免許証（状）の写し	<p>保健師、助産師、看護師または養護教諭の資格のうち、取得している全ての免許証（状）の写しをA4サイズに縮小したものを提出してください。</p> <p>本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。</p>

	入学検定料※ (30,000円)	① 同封の振込依頼書により銀行(ゆうちょ銀行除く)等の金融機関にて振り込みいただくか、ATM・ネットバンキング等により下記「※入学検定料の振り込みについて」記載の口座に振り込んでください。 いずれの場合も振り込み手数料をご負担ください。 ② 振込証明書(入学願書貼付用)又は振り込みが確認できる書類のコピーを入学願書の裏面に貼って提出してください。なお、振込金受取書(本人控)は、本人が納付したことを示すものですから、大切に保管してください。 ③ 現金等による納付はできませんので注意してください。
	資格審査結果の写し	令和4年度以降に実施した本研究科の資格審査により「資格あり」と認定された者は、その結果の写しを提出してください。
G票	受験票送付用封筒	本学所定の受験票送付用封筒に410円分(110円+速達300円)の郵便切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。(印刷してある「様」は消さないでください。)

注1 申請書類は、戸籍上の氏名を記入してください。

注2 改姓等により出願書類と各種証明書(写し)の氏名が異なる場合は戸籍抄本を添付してください。

注3 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

注4 郵便料金の改定が行われた場合は、改定後の料金の切手を貼付してください。

※入学検定料の振り込みについて

- ① 本要項に同封されている振込依頼書は、令和7年度大学院入学試験専用です。ご依頼人欄は、黒ボールペンではっきりと見やすい字で記入してください。また、直接機械で読み取られるので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ② ATM・ネットバンキング等により振り込む場合は、下記の口座に振り込んでください。

銀行支店	十六銀行	羽島支店
預金種類	普通預金	
口座番号	1517085	
口座名義	公立大学法人 岐阜県立看護大学 検定料受入口座	
	コウリツダク ｲﾝﾌﾞﾙｸﾞｼﾞﾝ ﾂﾌﾞﾈﾘﾝｶﾝｺﾞﾀﾞ ｲｸﾞ ﾗﾞﾝﾃｲﾘョウｶｲﾚｺウｶﾞ	

3 出願方法

全ての出願書類を所定の出願用封筒に入れ、原則「簡易書留速達郵便」により郵送してください。直接持参の受付時間は、土日祝日を除く午前9時から午後5時までです。

4 出願先

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1
岐阜県立看護大学 学務課 大学院入試担当

5 出願にあたっての注意事項

- (1) 必要な書類がすべて揃っていない場合には受理できません。出願の際には、十分確認してください(出願用封筒裏面のチェック表を活用してください)。また、出願期間を過ぎて到着したものは受理できませんので、所要日数を十分考慮のうえ出願してください。
- (2) 出願書類受理後の出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、出願先に連絡してください。
- (3) 入学を許可した場合であっても、出願書類の記載内容と相違する事実が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 一度受理された出願書類及び納付された入学検定料は、理由の如何を問わず返還しません。
- (5) 受験票が令和6年12月4日(水)までに届かない場合には出願先までお問い合わせください。

6 身体等に障がいのある入学志願者の事前相談

本大学院に出願を希望する者で身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、令和6年11月1日(金)までに上記『4 出願先』に相談してください。

V 試験方法

1 試験期日

令和6年12月7日(土)

2 試験日程

試験区分	時間	備考
筆記試験	a 看護学一般	10時00分～10時50分
	b 専門領域 選択科目	11時10分～12時10分
口述試験	面接	13時00分～
受付開始9時00分		入室完了9時30分

(1) 筆記試験

a 看護学一般：配点(100点)

看護(養護を含む)に関する基礎的知識及び考え方を問います。

b 専門領域選択科目：配点(100点)

選択する領域に関する専門的知識、現状における問題・課題に関する認識状況を問います。

(2) 口述試験(面接)：評価(A：極めてふさわしい B：ふさわしい C：ふさわしくない)

個別面接により行います。入学後に取り組もうとしている実践の改革への問題意識や社会的役割などを含めて、本研究科で育成しようとしている人材像に対する適格性などを確認します。看護(養護を含む)の分野での指導性を発揮できる可能性なども考慮します。

なお、必要に応じて出願時提出した書類記入事項についての追加質問も行います。

3 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験の得点、口述試験(面接)及び調査書等の内容を総合して評価します。(専門看護師コースについても、同様に行います。)

4 試験会場

試験会場	住所	電話番号	アクセス
岐阜県立看護大学	岐阜県羽島市江吉良町3047-1	058-397-2300	JR 東海道新幹線岐阜羽島駅 又は名鉄羽島線新羽島駅から 徒歩15分

5 受験上の注意事項

- (1) 試験に関する諸注意を行いますので、9時30分までに必ず検査室に入室してください。
- (2) 筆記試験(看護学一般)開始(10時00分)後の遅刻者に対しては、受験を認めません。
- (3) 試験当日は、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」を必ず持参してください。
- (4) 机の上には、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」「鉛筆削り」「鉛筆キャップ」「時計(計時機能のみのもの)」「眼鏡」「目薬」以外のものは置かないでください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、検査室に入る前に電源を切って、かばん等に入れておいてください。アラームの設定を解除してお

いてください。

- (6) 当日、受験票を忘れた者は、試験会場の受付で係員に申し出てください（仮受験票の発行手続きを受けてもらいます）。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (7) 試験会場では、監督者等の指示に従ってください。
- (8) 検査室には、受験者以外の立ち入りはできません。
- (9) 昼食の準備をしてください（当日、本学の食堂は営業していません）。
- (10) 大学構内は全面禁煙です。

VI 合格発表

1 発表日時

令和6年12月13日（金）午前10時

2 発表方法

岐阜県立看護大学内の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格発表後、合格者に合格通知を送付します。電話等による問い合わせには一切応じません。

また、ホームページ (<https://www.gifu-cn.ac.jp/>)においても合格者の受験番号が閲覧できます。閲覧期間は、発表当日の午後1時から12月23日（月）午後5時までです。

3 試験成績の情報提供

試験成績については、次のとおり情報提供します。

提供対象者	受験者（合格者を除く）本人
試験成績の内容	科目別得点
提供期間	合格発表の日から1か月間（土日祝日を除く午前9時から午後5時）
提供場所・方法	岐阜県立看護大学学務課窓口にて閲覧
必要書類	岐阜県立看護大学大学院受験票

VII 入学手続

1 入学手続期間

令和6年12月16日（月）～ 令和6年12月23日（月）午後5時必着

上記期間以降に到着したものは受理しないので、余裕をもって手続をしてください。

2 入学手続方法

後記4に記載する入学手続に必要な書類を「簡易書留速達郵便」または「直接持参」により提出してください。直接持参の受付時間は、土日祝日を除く午前9時から午後5時までです。

3 入学手続先

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1
岐阜県立看護大学 学務課 大学院入試担当

4 入学手続きに必要な書類

- ①誓約書（合格通知と一緒に送付します）
- ②受験票（郵送の場合はコピー、直接持参の場合は原本提示）
- ③写真3枚（縦3.0cm×横2.5cm、正面、上半身、無帽、無背景で、最近3か月以内に撮影されたもの。裏面には氏名、生年月日を記入してください。なお、これらの写真は、入学後の学生証や実習名札にも使用します。）
- ④入学金の振込金受取書のコピー 1枚

5 入学手続き上の注意事項

- (1) 入学金の納付については、下記のとおりです。該当する入学金を所定の振込依頼書（合格通知と一緒に送付します）で納めたうえで、その振込金受取書のコピーを提出してください。
なお、ATM・ネットバンキング等により振り込む場合は、下記に記載の「入学金振込口座」に振り込んでください。
いずれの場合も振り込み手数料をご負担ください。

岐阜県内の者	226,000円	入学者、入学者の配偶者又は1親等の親族のいずれかの者が、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間、岐阜県内の市町村に住民登録されている者
その他の者	338,000円	上記以外の者

注1. 金額については予定額であり、変更の場合は連絡します。

注2. 「岐阜県内の者」については、入学後に令和7年4月1日以降に発行された該当者の住民票を提出していただきます。その結果、「岐阜県内の者」の要件を満たしていないことが判明した場合（入学手続き以降に変更があった場合を含む）、差額の112,000円を追加徴収します。

「入学金振込口座」

ATM・ネットバンキング等により振り込む場合は、下記の口座に振り込んでください。

銀行支店	十六銀行 羽島支店
預金種類	普通預金
口座番号	1517093
口座名義	公立大学法人 岐阜県立看護大学 入学金受入口座 コリツガ イカホカジシキフクニカクゴダ イカク ニュウカ ケンケイロウサ

- (2) 入学手続き期間内に手続きを完了しなかった者については、入学を辞退した者として取り扱います。
- (3) 必要な書類がすべて揃っていない場合には受理できませんので、提出の際には十分確認してください。また、入学手続き期間を過ぎて到着したものは受理できません。郵送の場合には、所要日数を十分考慮して発送してください。
- (4) 一度受理された入学手続き書類及び一度納付された入学金等は、理由のいかんを問わず返却しません。
- (5) 学生保険（日本看護学校協議会共済会総合補償制度「Will」）の保険料の納付については、下記のとおりです。
 - ① 学生保険は、傷害事故や、賠償事故等に対応した総合補償制度です。研究活動において、万が一の事故等のため、加入していただきます。
 - ② 保険料13,500円（3年分）を所定の振込依頼書（合格通知と一緒に送付します）により銀行で納めたうえで、振込金受取書のコピーを提出してください。
 - ③ 振込依頼書の住所氏名欄を記入してください。

6 入学後の必要経費

授業料 年額357,200円（令和6年度現在）

※金額については予定額であり、変更の場合は連絡します。

- ・前期（5月）、後期（10月）の2回に分けて納付してください。
- ・在学中に、授業料が改定された場合、改訂後の授業料が適用されます。（スライド制の適用）

Ⅶ 個人情報の利用について

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報等の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

- ①入学手続きに係わる業務
- ②入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務
- ③個人が特定できない形での統計処理等の業務並びに本学の入学者選抜に関する調査研究

取得した個人情報は、上記業務以外に出願者本人の同意を得ることなく、利用又は第三者に提供することはありません。

看護学研究科（博士前期課程）の概要

1 教育課程の構成と特徴

本研究科の授業科目は、「基本科目」「看護学共通科目」及び4領域で展開する「専門科目」から成り立っています。専門科目は、地域基礎看護学、機能看護学、育成期看護学及び成熟期看護学の4領域に分けられ、選択した一領域を必修として履修する形となっています。

「専門看護師コース」を選択して入学してきた学生は、各コースで指定された専門看護師用の授業科目を履修しますが、慢性看護は地域基礎看護学領域、小児看護は育成期看護学領域、がん看護は成熟期看護学領域を選んだ者と同等レベルの学修を系統的に進める形となっています。

(1) 基本科目

基本科目では、倫理的判断力と総合的視野からの管理調整能力の基礎を培うことを目指して設定されています。これらの基本科目は、従来の医療サービスの枠組みを超えた視点を修得することを目指しており、主として看護学以外の分野の専門家である非常勤講師による授業展開としています。授業科目は、6科目ですが、そのうち学修展開の中核となる2科目を必修としています。

(2) 看護学共通科目

専門性の高い看護実践能力と看護研究能力を培うことを目指して、看護学教育論、看護管理論、看護理論、看護学研究方法、看護倫理、看護政策論、臨床薬理、看護ヘルスアセスメント、及び病態生理学の9科目を設定しています。そのうち、4科目を必修としています。専門看護師コースを選んでいる学生の場合は、必修が7科目です。専門看護師コースの方は、専門看護師資格取得に必要な単位数（14単位以上）を十分充たす履修計画を個人別につくる必要があります。

(3) 専門科目

本課程の専門領域は、地域基礎看護学、機能看護学、育成期看護学、成熟期看護学の4領域です。原則として受験に際して選んだ領域の科目で学修を深めます。いずれの領域も、授業科目は特論・演習・特別研究で構成され、選んだ一領域の全科目が必修科目となります。また、専門看護師コースでは、慢性看護・小児看護・がん看護の3コースとも、それぞれに設定された科目群がすべて必修科目です。

① 地域基礎看護学

看護学は、人々の生活の営みを健康面から支える学問です。従って、人々の本来の生活のある地域で展開する看護のあり方が看護学研究の基盤となります。このような考え方に基づいて、看護学の基盤をなす領域と位置づけ、地域で展開する看護の特質や方法の開発を行います。特に、学生自身が当面している状況を考慮して、看護実践活動に直結した課題の解決を追究する能力の育成をします。

授業担当教員（※は、事前面談担当教員）

教授	※北山 三津子	※森 仁実	※松下 光子	※藤澤 まこと
	※石川 かおり	※山田 洋子	※大川 眞智子	

② 機能看護学

機能看護学は、看護を発展させる機能を追究します。看護実践の中で重視する要素としては、マネジメント、人材育成・情報を考えています。教育目標は、一人ひとりがよい看護をする、組織としてよい看護をする、生涯にわたり成長し続ける人材となる、ことです。今までの看護実践をふり返り、看護情報の意味を学修します。さらに、持続して発展する組織の要件、その実現を目指した人材育成を文献・実践体験から学びます。以上をとおり、キャリア育成、組織理念実現のための貢献を追究します。

授業担当教員（※は、事前面談担当教員）

教授 ※橋本 麻由里 ※奥村 美奈子

③ 育成期看護学

育成期看護学は、人間のライフサイクルの中で、次世代を育むという側面に焦点を当て、この時期固有の看護支援のあり方と方法を追究します。したがって、従来の母性看護学、小児看護学、学校看護学を総体的に捉え、育成期看護学として固有の視点から研究・開発されなければならない諸課題を取り上げます。前期課程では、看護師、助産師、保健師、養護教諭として次世代を育む援助において専門性の高い実践活動とその研究開発ができる能力を育成します。

授業担当教員（※は、事前面談担当教員）

教授 ※岡永 真由美 ※布原 佳奈 ※名和 文香

④ 成熟期看護学

成熟期にある人々の健康生活の支援を看護学の立場から学修します。加齢に伴い出現してくる身体的・精神的・社会的課題と保健・医療・福祉に関する複雑多様な課題をもつ高齢者とその家族の看護アセスメントと看護支援のあり方を追究します。さらに認知症で代表されるように老化と相まって多様な健康障害や、生活障害をもちながら生活している高齢者とその家族に対して、わが国における高齢者看護の現状を踏まえて地域を基盤にした看護支援及び、高齢者施設における看護支援の方法について研究開発していく能力を育成します。

授業担当教員（※は、事前面談担当教員）

教授 ※梅津 美香 ※古川 直美 ※北村 直子

慢性看護（地域基礎看護学）、小児看護（育成期看護学）、がん看護（成熟期看護学）の三つの専門看護師コースの専門科目群の概要は、以下のとおりです。

⑤ 慢性看護専門看護師コース

慢性疾患の増加に伴い、さまざまな課題がもたらされている現代社会において、人々が生活の営みの中で健康管理を続けられるように支援することの意義と方法を追究します。

個人・家族を生活者として捉え、ライフスタイルや身体的要因に起因する健康問題とその支援方法、慢性病者の包括的アセスメント、疾病予防のための教育支援方法、および慢性病を持つ人々に適用される医療福祉の制度や体制とその革新方策など、高度な知識・技能を用いた慢性専門看護師としての実践能力を育成します。

授業担当教員（※は、事前面談担当教員）

教授 ※藤澤 まこと ほか

⑥ 小児看護専門看護師コース

高齢社会の進行と少子化が問題となり、社会の急激な変化と共に、子どもの置かれた環境、とくに家族生活の在り様が急激に変化し、幼い子どもと接する機会を持たずに成人する人の増加も予測されます。また、医療技術が目覚しく発展する中で、医療費の抑制や高齢化への対応の一方で、小児にかかわる医療サービス提供の不備が懸念されています。

このように複雑化する子どもと家族の問題に質の高い看護を提供するためには、高度な専門性をもつ小児専門看護師の役割と機能は有用であり、小児を取り巻くケアの現状・課題及びサービス調整、関連制度・政策などの方策を含め、専門性の高い看護実践能力を育成します。

授業担当教員（※は、事前面談担当教員）

教授 ※岡永 真由美 ほか

⑦ がん看護専門看護師コース

近年のがん治療における進歩はめざましく、がんの種類によっては治癒率、生存率の大幅な増加が可能となり、がん患者は生涯にわたって、がんをコントロールして、有意義な生活を送れるようにすることが重要視されるようになってきています。

がん患者や家族に質の高い看護を提供するためには、がん看護について高度な専門性をもつがん看護専門看護師の役割と機能が有用であり、がん患者ができるだけ最期まで住み慣れた場所で質の高い生活を送れるようにするための支援方法を追究します。

そこで、がん患者への関連制度・政策を踏まえて在宅支援体制を調べるとともに、症状マネジメントや緩和ケアに重点を置いて看護実践能力を育成します。

授業担当教員（※は、事前面談担当教員）

教授 ※古川 直美 ※梅津 美香 ほか

出願にあたって：出願前に専攻を希望する領域の教員(授業担当教員のうち ※印を付した教授)との事前面談を必ず受けてください。

申し込み先：岐阜県立看護大学 学務課 058-397-2300 (代表)

2 履修課程および担当教員

※この表は令和6年度のものであり、令和7年度については変更となることがあります。

授 業 科 目			必修 選択	単位数 (時間)	配当 セメスター	
区分	科目系列	授業科目名 主な教員				
基本 科目	人間生活と倫理	医療・介護をめぐる倫理と人権 増田聖子	必	1(30)	1	
	ケアサービスの経営	地方自治体の仕事と行財政 都竹淳也	選	1(15)	1・3・5	
		コミュニティ経営学入門 菊本舞	必	1(22.5)	2・4・6	
	地域生活と保健	地域生活特性論 会田敬志	選	1(15)	2・4・6	
	地域生活と福祉	地域生活福祉論 杉野緑	選	1(15)	1・3・5	
	教職科目	教育学特殊研究 松本訓枝 大川眞智子	*1	1(30)	1~2・3~4・5~6	
看護学 共通科目	看護学教育論	奥村美奈子 橋本麻由里	必	2(30)	3	
	看護管理論	橋本麻由里 山田洋子	*2	2(30)	1・3・5	
	看護理論 *3	森仁実 藤澤まこと	選	2(30)	2・4・6	
	看護学研究方法	石川かおり 梅津美香	必	2(30)	1~2	
	看護倫理	山田洋子 布原佳奈	必	2(30)	3・5	
	看護政策論	北村直子 大川眞智子 勝又浜子 和住淑子	選	2(30)	1・3・5	
	臨床薬理	岡永真由美 古川直美 田中宏幸	*4	2(30)	1・3	
	看護ヘルスアセスメント	奥村美奈子 藤澤まこと	*4	2(30)	2・4	
	病態生理学	岡永真由美 北村直子	*4	2(30)	2・4	
専門 科目	地域基礎 看護学領域	地域基礎看護学特論Ⅰ	北山三津子 森仁実 松下光子 藤澤まこと 石川かおり 大川眞智子 山田洋子 加藤由香里	選	2(30)	1
		地域基礎看護学特論Ⅱ		選	2(30)	3~4
		地域基礎看護学演習Ⅰ		選	1(30)	1~5
		地域基礎看護学演習Ⅱ		選	2(60)	3~4
		地域基礎看護学特別研究		選	10(300)	1~6
	機能 看護学領域	機能看護学特論Ⅰ	橋本麻由里 奥村美奈子 長屋由美 古澤幸江 河合正成	選	2(30)	1
		機能看護学特論Ⅱ		選	2(30)	3~4
		機能看護学演習Ⅰ		選	1(30)	1~5
		機能看護学演習Ⅱ		選	2(60)	3~4
		機能看護学特別研究		選	10(300)	1~6
	育成期 看護学領域	育成期看護学特論Ⅰ	岡永真由美 布原佳奈 名和文香 山田洋子 亀山智加枝	選	2(30)	1
		育成期看護学特論Ⅱ a		選	2(30)	3~4
		育成期看護学特論Ⅱ b		選	2(30)	3~4
		育成期看護学演習Ⅰ		選	1(30)	1~5
		育成期看護学演習Ⅱ		選	2(60)	3~4
育成期看護学特別研究		選		10(300)	1~6	

専 門 科 目	成熟期 看護学領域	成熟期看護学特論Ⅰ	梅津美香 古川直美 北村直子 布施恵子 船橋真子	選	2(30)	1
		成熟期看護学特論Ⅱ		選	2(30)	3～4
		成熟期看護学演習Ⅰ		選	1(30)	1～5
		成熟期看護学演習Ⅱ		選	2(60)	3～4
		成熟期看護学特別研究		選	10(300)	1～6
	慢性看護	慢性看護論Ⅰ	藤澤まこと 北山三津子 松下光子 加藤由香里	選	2(30)	1
		慢性看護論Ⅱ		選	2(30)	3～4
		クロニックケア政策論		選	2(30)	3
		慢性看護アセスメント論		選	2(30)	2
		慢性看護援助論Ⅰ		選	2(30)	4
		慢性看護援助論Ⅱ		選	2(30)	3～4
		慢性看護援助論演習		選	2(60)	3～4
	小児看護	小児看護論	岡永真由美	選	2(30)	1
		小児の疾患と治療学		選	2(30)	1
		小児看護アセスメント論		選	2(30)	2
		小児看護援助論		選	2(30)	3
	がん看護	がん病態看護論	梅津美香 古川直美 北村直子 布施恵子	選	2(30)	1
		がん看護論		選	2(30)	1
		がん看護援助論Ⅰ		選	2(30)	2
		がん看護援助論Ⅱ(緩和ケア1)		選	2(30)	3
		がん看護援助論演習(緩和ケア2)		選	2(60)	2～3
		がん看護援助論Ⅲ (がん薬物療法看護1)		選	2(30)	3
		がん看護援助論Ⅳ (がん薬物療法看護2)		選	2(30)	4
	専門看護実習	慢性看護学実習Ⅰ	藤澤まこと 加藤由香里 岡永真由美 梅津美香 布施恵子	選	3(135)	1～2
		慢性看護学実習Ⅱ		選	4(180)	3～4
		慢性看護学実習Ⅲ		選	3(135)	5～6
		小児看護学実習Ⅰ		選	2(90)	1～2
		小児看護学実習Ⅱ		選	2(90)	1～2
		小児看護学実習Ⅲ		選	3(135)	3～4
		小児看護学実習Ⅳ		選	3(135)	5～6
		がん看護学実習Ⅰ		選	2(90)	1～2
		がん看護学実習Ⅱ		選	4(180)	3～4
		がん看護学実習Ⅲ		選	4(180)	5～6
専門看護課題研究		課題研究Ⅰ		藤澤まこと 岡永真由美 古川直美	選	2(60)
	課題研究Ⅱ	選	2(60)		3～4	
	課題研究Ⅲ	選	2(60)		5～6	

*1 基本科目「教育学特殊研究」は、育成期看護学領域の養護教諭一種免許状保持者で養護教諭専修免許状を取得する場合は必修、それ以外は選択を表す。

*2 看護学共通科目「看護管理論」は、博士前期課程の場合は必修、専門看護師コースの場合は選択を表す。

*3 看護学共通科目「看護理論」は、隔年開講とする。

*4 看護学共通科目「臨床薬理」「看護ヘルスアセスメント」「病態生理学」は、博士前期課程の場合は選択、専門看護師コースの場合は必修を表す。

【修了要件】

- ・必修 27 単位：基本科目 2 単位 看護学共通科目 8 単位 専門科目 17 単位
- ・選択 6 単位
計 33 単位
- ・専門科目において、選択しようとする領域については、その領域の特論 4 単位、演習 3 単位、特別研究 10 単位を必修とする。
- ・選択 6 単位のうち、基本科目 2 単位以上、看護学共通科目「看護理論」「看護政策論」から 2 単位以上を必修とする。

以上にかかわらず、専門看護師コースは以下のとおりとする。

[慢性看護] 必修 45 単位：基本科目 2 単位 看護学共通科目 12 単位 専門科目 31 単位
選択 2 単位
計 47 単位

[小児看護] 必修 45 単位：基本科目 2 単位 看護学共通科目 12 単位 専門科目 31 単位
選択 2 単位
計 47 単位

[がん看護] 必修 47 単位：基本科目 2 単位 看護学共通科目 12 単位 専門科目 33 単位
選択 2 単位
計 49 単位

【主な教員】

- ・基本科目、看護学共通科目については、各科目の責任教員である。
- ・専門科目については、地域基礎看護学領域、機能看護学領域、育成期看護学領域及び成熟期看護学領域については、各授業科目の担当教員であり、慢性看護、小児看護、がん看護、専門看護実習及び専門看護課題研究については、各科目の責任教員である。
- ・教員は令和 6 年度現在であり、令和 7 年度は変更することがある。

3 時間割と授業時間について

本研究科は、大学院設置基準第14条適用による教育方法の特例を採用し、夜間授業（6時限目）や土曜日の授業を行います。また、働きながら学べるように、修業年限は3年の長期在学コースとし、金・土曜日・夏季及び春季などに集中させた時間割編成を行っています。

授業時間は、原則として、9時00分から19時30分までとし、具体的には下に示すとおりです。1時限90分授業を実施し、これを2時間の授業時間と換算しています。

時 限	授業時間	月	火	水	木	金	土
1時限	9:00 ~ 10:30					◎	◎
2時限	10:40 ~ 12:10					◎	◎
3時限	13:00 ~ 14:30					◎	◎
4時限	14:40 ~ 16:10					◎	◎
5時限	16:20 ~ 17:50					◎	◎
6時限	18:00 ~ 19:30					◎	◎

◎は授業実施時間を表示

- ・金曜日の授業は、月1～2回で実施予定
- ・夏季及び春季休業中には集中講義を実施予定
- ・基本科目は土曜日に実施予定

3 添付書類

A票

入 学 願 書

記 入 例

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を
記入してください。

①出願前3か月以内

②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、
無背景

			受験番号	※
フリガナ	ハシマ ミライ		性別	昭和 平成
氏 名	羽島 未来			
		1男 2女	生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日生
フリガナ	ギフケン ハシマシ エギラチョウ			
住 所	〒501-6295			
	岐阜 都 道 府 羽島 市 区 江吉良 町 村 3047-1			
	ギフハシマハイツ			
	岐阜羽島		ハイツ・アパート マンション 団地	201 号室
電話番号	058-397-2300		自宅・呼出・その他 ()	
緊急連絡先	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇		携帯・その他 ()	
E-mail	gakumu@gifu-cn.ac.jp			
志望専門領域 (○を1つ つける)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域基礎看護学領域 ・慢性看護専門看護師コース (地域基礎看護学領域) <input type="checkbox"/> 育成期看護学領域			
出願資格 (○をつけて 記載する)	大 学	昭和・平成・令和 〇〇年 3月 卒業・卒業見込		
	学位授与機構	〇〇〇〇大学 看護学部 看護学科		
	その他	平成・令和 年 月 認定修了・認定修了見込 学位授与機構 学士		
	入学資格審査認定済者	外国の学校教育修了者 文部科学大臣の指定した者 その他 ()		
	入学資格審査認定済者	認定番号		

A票

入 学 願 書

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を
記入してください。

①出願前3か月以内

②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、
無背景

		受験番号	※
フリガナ		性別	昭和 年 月 日生 平成
氏 名		1男 2女	
フリガナ			
住 所	〒 都道市区町村 府県 郡 区		
	ハイツ・アパート マンション 号室 団地		
電話番号	— — 自宅・呼出・その他（ ）		
緊急連絡先	— — 携帯・その他（ ）		
E-mail			
志望専門領域 (○を1つ つける)	・地域基礎看護学領域 ・慢性看護専門看護師コース（地域基礎看護学領域） ・育成期看護学領域		
出願資格 (○をつけて 記載する)	大 学	昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込 大学 学部 学科	
	学位授与機構	平成・令和 年 月 認定修了・認定修了見込 学位授与機構 学士	
	その他	外国の学校教育修了者 文部科学大臣の指定した者 その他（ ）	
	入学資格審査認定済者	認定番号	

入学検定料の

振込証明書（入学願書貼付用）

又は

振り込みが確認できる書類のコピー

を貼ってください。

※はがれないように、
全面のリ付けしてください。

B票

令和7年度 岐阜県立看護大学 大学院
看護学研究科（博士前期課程二次募集）入学試験

写真票

受験番号	※
フリガナ	
氏名	

※欄は、記入しないでください。

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を

記入してください。

①出願前3か月以内

②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、

無背景

C票

令和7年度 岐阜県立看護大学 大学院
看護学研究科（博士前期課程二次募集）入学試験

受験票

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
志望領域	
試験期日	令和6年12月7日(土)
試験会場	岐阜県羽島市江吉良町3047-1 岐阜県立看護大学

※欄は、記入しないでください。

日程

試験区分		時間
筆記試験	看護学一般	10:00~10:50
	専門領域 選択科目	11:00~12:10
口述試験	面接	13:00~
受付開始9:00		入室完了9:30

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を
記入してください。

①出願前3か月以内

②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、

無背景

受験上の注意事項

- ① 試験に関する諸注意を行いますので、9時30分までに必ず検査室に入室してください。
- ② 試験開始(10時00分)後の遅刻者に対しては、受験を認めません。
- ③ 試験当日は、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」を必ず持参してください。
- ④ 机の上には、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」「鉛筆削り」「鉛筆キャップ」「時計(計時機能のもの)」「眼鏡」「目薬」以外のものは置かないでください。
- ⑤ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、検査室に入る前に電源を切って、かばん等に入れておいてください。アラームは設定を解除しておいてください。
- ⑥ 当日、受験票を忘れた者は、試験会場の受付で係員に申し出てください(仮受験票の発行手続きを受けてもらいます)。また、受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑦ 試験会場では、監督者等の指示に従ってください。
- ⑧ 検査室には、受験者以外の立ち入りはできません。
- ⑨ 昼食の準備をしてください(当日、本学の食堂は営業していません)。
- ⑩ 大学構内は全面禁煙です。

D票

(D-1)

受験番号

※

調 査 書

出願者氏名 _____

履 歴			
学 歴 (高等学校から記入してください)	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
職 歴		勤 務 先	具体的な職位と職務内容
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		

注) 手書きの場合はボールペン又はペンで記入すること

本学ホームページより様式をダウンロードしてパソコンで作成する場合は書式を変更しないこと

- ※印は記入しないこと
- 「具体的な職位と職務内容」欄には、具体的な病棟名等を記入すること
- 履歴欄が不足する場合は、コピーして使用すること

(D-2) の調査項目も忘れずに記載すること

E票

受験番号 ※

推 薦 書

出願者氏名 _____

令和 年 月 日

所 属 _____

所 在 地 _____

職名・氏名 _____ 印

出願者との関係 _____

- 注) 手書きの場合はボールペン又はペンで記入してください。
本学ホームページより様式をダウンロードしてパソコンで作成する場合は書式を変更しないでください。
- ※印の欄は記入しないでください。
 - 推薦書が不足する場合は、コピーして使用してください。

F票

受験番号 ※

在籍期間証明書

岐阜県立看護大学長 様

令和 年 月 日

施設（機関）名

所在地

施設（機関）長又は代表者

職印

下記の者は、当施設（機関）において、実務経験がある（見込まれる）ことを証明します。

記

ふりがな
氏名

生年月日 年 月 日生

実務期間 年 月 ～ 年 月（ 年 か月）

職種

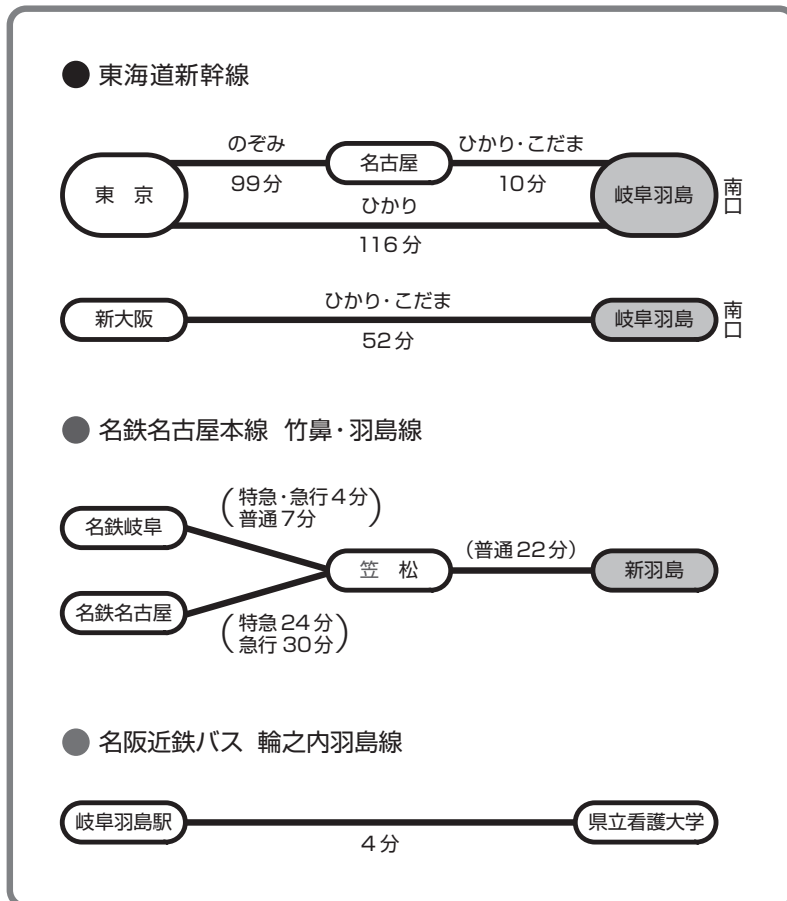
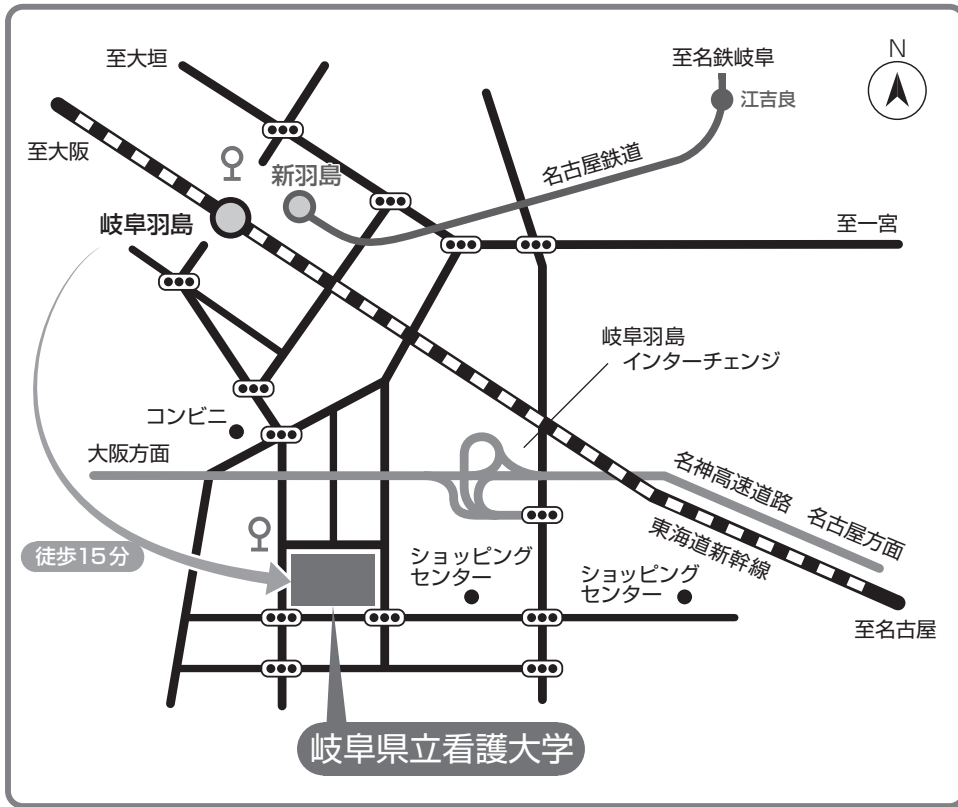
勤務形態 1 常勤 2 非常勤（1日当たり 時間 : 週 日勤務）

職務内容

- 注) 1 看護師、保健師、助産師及び養護教諭の資格での実務経験期間について、在籍施設（機関）長又は代表者が証明（職印が必要）してください。
2 「勤務形態」については、常勤、非常勤のいずれかに○印をし、非常勤については1日当たりの平均時間数及び週の勤務日数を記入してください。
3 用紙が不足する場合はコピーして使用してください。

※印の欄は記入しないでください。

○試験会場へのアクセス



公立大学法人岐阜県立看護大学

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1

TEL: 058-397-2300 (代表)

FAX: 058-397-2302

MAIL: gakumu@gifu-cn.ac.jp

H P: <https://www.gifu-cn.ac.jp/>